

植田北学区 避難行動 マップ

保存版

あなたの一時集合場所



この避難行動マップをもとに
“いざ”という時どんな行動を
とればよいのか日頃から
考えておこう！！

天白区のマスコットキャラクター
「かぼっち」

植田北
コミュニティ
センター

植田北コミュニティセンター

植田北小学校

天白消防署
植田出張所

植田中央公園

植田中学校

植田小学校



植田北
小学校

凡例

屋内施設

指定緊急避難場所

命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所。

指定避難所

自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間避難生活を送るためのところ。

屋外施設

広域避難場所

(地震の揺れ、大規模な火事)
地震・大規模な火事の指定緊急避難場所であり、大火災から避難者を守るための空間を有している公園・緑地など。

一時避難場所 (地震の揺れ)

【学校のグラウンド】
地震の指定緊急避難場所であり、一時的に避難して様子をうかがうところ。

【一時避難場所】

地下式給水栓

住民が自ら給水できる設備。使用するための用具は防災倉庫にある。

仮設給水栓

災害時に市職員が設置し、給水できる施設。

WC 下水道直結式仮設トイレ (震災用マンホール)

マンホールに直結できる仮設トイレ。避難所のトイレ不足を補う。

一時集合場所

地震災害時に、地域住民が集まる場所。一時集合場所から避難所に避難する。

地域防災協力事業所

大災害時に地域に対して支援・協力してくれる事業所。

液状化可能性 大

防災倉庫

AED (自動体外式除細動器)

公衆電話

消防署 (出張所)

高い塀が多い



牧野ヶ池緑地

地域防災協力事業所

※災害の状況によっては使用できない場合があります。

A 日新商事(株)名古屋支店Dr.Driveセルフ植田SS	救助資器材の提供 (消火器、ジャッキ、バール、その他の工具等)
B 老人保健施設サンタマリア	仮設避難所 (指定避難所が開設されるまでの間) の提供、車椅子、寝具、毛布等の提供
C コスモ石油販売(株)東中部カンパニー セルフピュア植田	救助資器材の提供 (消火器、ジャッキ、バール、その他の工具等)
D タイヤ館焼山	救助資器材の提供 (消火器、ジャッキ、バール、その他の工具等)、 駐車場 (指定避難所が開設されるまでの間) の提供
E B&Dドラッグストア 焼山店	一時避難所 (名古屋市が指定する避難所が開設されるまでの間) 駐車場の提供、 トイレの提供、食料品、衛生用品及び紙おむつなどの可能な範囲における支援協力
F マミーベア保育園 うえだきた	駐車場及び園庭の提供、AED 及び応急救護資器材の貸出、トイレ等設備の貸出し

AED 設置場所一覧

※利用可能時間は設置場所によって異なります。

1 株式会社カスペンタルサプライ	6 こうのすクリニック	11 マミーベア保育園 うえだきた
2 八事東サンハイツ	7 名古屋市立植田北小学校	12 ルアナガーデン焼山
3 株式会社宮井電機商会	8 ティア焼山	13 プレイランドキャッスル天白店
4 愛知信用金庫 植田支店	9 Lusso Cars	14 ジープ名古屋天白
5 植田北コミュニティセンター	10 東山イースト団地	

参考 日本救急医療財団 全国AEDマップ
日本全国AEDマップ



天白区 植田北学区

(令和6年2月1日現在)

世帯：3,181世帯 人口：7,196人 面積：1.219km²

特性と災害リスク

南海トラフ巨大地震が発生した場合、植田北学区では強い揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。この時にケガをしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。学区内では、**液状化の可能性**が高い場所がありますので、避難の時には注意しましょう。

地震時の行動

揺れた！

- 身の安全の確保
- 頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- 家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意
- 安全に消せる場合は火を消す



自宅の耐震化や家具の転倒防止を進めておきましょう。

机がない時は、クッション、かばんなどで頭を守りましょう。



揺れがおさまった!!

- 火の元の確認、出火したら初期消火
- 怪我をしないように底の厚い靴やスリッパを履き、出入口の確認
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- テレビ、ラジオ、スマホなどから正しい情報の入手
- 非常持出品の準備

◆避難先へ安全に避難するための6つのポイント

1 ガス・水道の元栓を締め、ブレーカーを切る！

2 近所への声かけ！

3 高齢者や障がいのある方などの避難誘導を！

4 原則徒歩で！
(渋滞抑止・高齢者や障がいのある方などの避難を妨げない)

5 木造住宅密集地、がけ地や川の近くは避けて！

6 消火・人命救助の手伝いを！

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か

◆自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活（在宅避難）を！

避難所は多数の方が避難生活を送るため、大きな負担がかかることが想定されます。倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける「在宅避難」を考えましょう。その際は下記のことを心掛けましょう。



在宅避難

避難先へ

避難が必要

在宅避難

指定緊急避難場所へ避難

- 災害の危険があり（特に避難情報（避難指示等）の発令時）、自宅には命が守れない場合は、災害の種類に応じた指定緊急避難場所のある施設に避難してください。
- 避難指示などによらず、自主的に避難する場合には、事前に区役所へ連絡し、避難先などの確認を受けてください。

近くの避難場所

- ◆指定緊急避難場所（地震）
 - 牧野ヶ池緑地（広域避難場所）
 - 植田中央公園（広域避難場所）
 - 小中学校グラウンド
- ◆指定避難所
 - 植田北小学校
 - 植田小学校
 - 植田中学校
 - 植田北コミュニティセンター

在宅避難時の食料について

避難所外避難者（在宅避難者、車中泊避難者、テント泊避難者等）について、避難者登録をした後、原則避難所で食料及び物資を配分します。

分散避難も考えましょう

近隣の安全な地域にお住まいの親戚などと、災害時に避難ができるか、事前に相談しておくとう安心です。

大規模災害では、避難所の収容人数が不足することも懸念されるため、付近のホテルや旅館への避難も検討しましょう。

在宅避難のために

在宅避難では、水・食料や非常用トイレの準備・備蓄が欠かせません。また昭和56年以前の建物は耐震診断を行い、地震後には被災建築物応急危険度判定で安全性を調べてください。

まず手始めに、家具の転倒防止をして安全な居場所を確保しましょう。

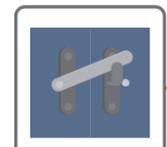
災害に備えよう！

安全な空間を確保

家具の配置を工夫するとともに、転倒・移動防止を図りましょう。



冷蔵庫などは転倒防止器具で固定しましょう。

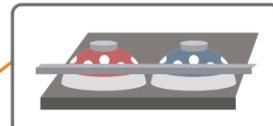


戸棚の扉にはロック機能の付いたものをつけましょう。



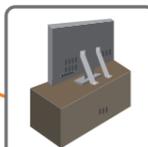
ガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう。

L字金具で固定しましょう。重い物ほど下に入れましょう。



食器の滑り止めをつけましょう。

懐中電灯などは手の届く所に置きましょう。



テレビはベルト、粘着マットなどで固定しましょう。

非常持出品の準備

在宅避難をするため、以下の準備をしておきましょう

備蓄品の例
災害に備えて用意しておきたいもの

7日分程度用意しましょう

命をつなぐために用意しておきたいもの

- 保存がきく食品（自分が食べやすいもの）
- 常備薬（持病の薬を含む）
- 飲料水（ペットボトル）
1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品（ゼリーなど）と組み合わせることで量を減らすことができます。

防災用品

- 給水用のポリ容器・バケツ
- ロープ
- パール
- のこぎり・工具など

寝具等

- 毛布
- 寝袋
- キャンプ用テント

便用品

- ドライシャンプー

燃料

- カセットコンロ（予備のボンベ含む）
- 固形燃料

いざという時すぐに持ち出せるよう、非常持出品を準備しておきましょう。

非常持出品の例

防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手
- マスク

貴重品

- 現金（小銭も必要）
- 預（貯）金通帳の写し
- 健康保険証・免許証の写し
- カード類
- 認印・印鑑など

衣料品

- 衣類（着替え）
- タオル（大小2種類）
- スリッパ

「**黄色**のものは感染症流行時に備えて非常持出品にプラスしておきましょう」

医療用品

- 三角せん
- 包帯・ガーゼ
- ばんそうこう
- 消毒薬（アルコール消毒薬）
- ウェットティッシュ（ティッシュ）
- お薬手帳
- 体温計

照明等

- 懐中電灯（電池含む）
- マッチ・ライター

食器類

- はし・スプーン
- 紙皿・紙コップ

便用品

- 筆記用具
- 新聞紙
- 携帯用トイレ
- ゴミ袋
- キッチン用ラップ
- 使い捨てカイロ
- 雨具
- 手動携帯電話充電器

その他（個人的に必要なもの）

- 粉ミルク
- 紙おむつ
- 生理用品
- 予備のメガネ・補聴器など

トイレの備え

災害時、まず困るのがトイレ。断水時、普通には使えません。携帯用トイレなどを事前に備えておくと安心です。



緊急トイレ対策 ～ポリ袋で急場をしのぐ～



出典：NTT防災タウンページ（2016年度版）

災害リスクを知る

「なごやハザードマップ防災ガイドブック」には各種ハザードマップや避難所マップ、マイ・タイムラインなど防災に役立つ情報が盛りだくさんです。ぜひ確認して活用してください！

